

## 第4回大阪大学野田村サテライトセミナー 「北海道南西沖地震から20年、奥尻島のあゆみ」

2013年6月11日、大阪大学未来共生イノベーター博士課程プログラムのもと開設された「大阪大学野田村サテライト」にて、「第4回大阪大学野田村サテライトセミナー」を開催しました。大阪大学野田村サテライトセミナーでは、いくつかのコースを設けます。その1つが、災害復興コースです。今回は、北海道大学の定池先生を講師としてお招きしました。子どもの頃、北海道奥尻島で津波を経験されて以来、島の復興をつぶさにご覧になってこられた先生に、奥尻島の復興のあゆみについて語っていただきました。



大阪大学野田村サテライト外観



iPadを使った遠隔通信の様子

第4回セミナーにも、野田村の方々にご参加いただき、また、遠隔教育システムを通じて大阪大学人間科学部と野田村サテライトを結び、大阪大学の学生にも多数参加していただきました。



セミナーの様子



講師の定池先生

セミナーは、定池先生の自己紹介から始まり、そのあと奥尻島クイズが行われるなど、和やかな雰囲気ですスタートしました。定池先生自身の、島でのエピソードなども交えつつ進行し、自然豊かな奥尻島の魅力が十分に伝わりました。

次に、被災当時の奥尻島の被害状況、その後の復旧・復興過程について語っていただきました。1993年に発生した北海道南西沖地震は、津波やそれに伴う火災により奥尻島に甚大な被害を与えました。そこからどのように奥尻島の方々が復興していったのか、写真などを交えつつ、その過程について詳しくお話しいただきました。奥尻島では仮設住宅建設等の災害復旧・復興の決断が素早く、行政サポートも十分であった反面、その後のまちづくりや奥尻島の魅力発信の点において、いくつかの反省があると話しておられました。そして最後に、復興に際して関わってくださったボランティアや、色々な支援に対して、それをいかに自分たちの力に変えるかが大切だとおっしゃっていました。



**セミナーの様子**



**大阪大学学生との交流**

講演後の質疑応答でも、参加者の方々から多数質問があり、野田村の方や学生にとっても、とても興味深いお話であったことがわかりました。参加者の方からは「今回お話しいただいた奥尻島の復興のおゆみを、野田村を始めとする東日本大震災の被害にあった地域で生かしていけたら」という感想をいただきました。

今回のセミナーは災害復興コースでしたが、野田村サテライトセミナーでは今後も様々なコースを設け、多くの方に参加していただけるセミナーを目指します。また、サテライトに導入された遠隔教育システムを存分に活用し、サテライトでの研究・教育に参加できるシステムをさらに充実させていきます。次回は7月11日です。